

氏名	中 尾 陽
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1713 号
学位授与の日付	昭和61年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学 位 論 文 題 目	健常高齢者の体表面電位図の検討：QRS・T波について
論 文 審 査 委 員	教授 太田善介 教授 木村郁郎 教授 中山 沃

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

60歳以上の健常高齢者（118名）の体表面電位図について検討した。検討項目は、QRS、ST-T電位図、最大陽性電位、最大陰性電位、Breakthroughであり健常成人例（178名）との年齢差、性差につき比較検討した。

高齢者の電位図は健常成人例と比較し以下の点で明らかに差異が認められた。

- 1 QRS 電位図では10 msec の時点で、高齢者群ほど男女とも極大は下方に極小は上方に偏位し零電位線はより胸骨中線と平行になった。30 msec では、女性では高齢者群ほど前胸部の陽性電位が有意に高くなった。右側胸部から右背部の陰性電位は浅くなり、逆に男性では陽性電位は小さくなり、背部の陰性電位は浅くなった。ST-T 電位図の前胸部の陽性電位には著明な性差を認めた。
- 2 Breakthrough 認識率は各群間で有意差は認められなかったが、その認識時間は女性が小さく加齢とともに男女とも大きくなった。
- 3 最大陽性電位は、女性で左前胸部から背部で大きくなり乳房の加齢によるやせの影響が考えられた。最大陰性電位は、男女とも前胸部下部で浅くなった。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は60歳以上の健常高齢者（118名）の体表面電位図でQRS、ST-T 電位図、最大陽性電位、最大陰性電位、Breakthrough の検討項目について健常成人例（178名）との年齢差、性差につき比較検討した。その結果高齢者の電位図は健常成人例と比較して明らかな差異を認められた。これは臨床的に価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。